

教科名

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
公民	政治・経済	2	3年次・K群	選択履修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
最新政治経済（実教出版）		政治・経済ワークブック		履修条件なし

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治・経済・国際関係などについて、客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な資質・能力や態度を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
政治・経済についての基本的な知識を理解し、社会事象の分析に活用が図れているか。	政治・経済についての現実の諸課題を学習した知識を用いて分析・判断できているか。	授業の内容や社会での事象に関心を持っているか。 授業を意欲的に取り組んでいるか。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	第1部 現代日本の 政治・経済	第1編 現代日本の経済 1章 現代の経済社会	4	・経済活動の意義、国民経済における 経済主体の役割、市場経済のしくみなど を理解させ、現代経済の特質を把握 させる。	1 2 3
			2章 現代の日本経済と福祉の向上	5 6		1 2 3
			第2編 現代日本の政治 1章 現代国家と民主政治	7	・日本経済の課題と労働、社会保障制度 など暮らしに関わる経済問題について 理解と考察を深める。 ・政治と法の意義などを理解する。	1 2 3
			2章 日本国憲法と基本的人権	9		1 2 3
2 学 期	第2部 現代の国 際政治・ 経済	3章 日本の政治制度と政治参加	10	・国会、内閣、司法、地方自治など政治 制度の課題と政治参加の方法について 考察させる。	1 2 3	
		第1編 現代の国際政治 1章 国際政治の動向と課題	11		1 2 3	
		第2編 現在の国際経済 1章 国際経済理論 2章 国際経済の動向と課題	12	・国際法の意義、国際機構の役割などを 理解させるとともに国内政治との違 いを考察させる。	1 2 3	
		1	・国際経済の特質を理解させるとともに 現代の貿易などの問題点についても 考察させる。		1 2 3	
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○学習内容を理解できているか。 ○発問を理解し、答えを正しく求 めることができているか。 ○資料から得られる情報を効果 的に活用しているか。		○学習内容を理解しようとしてい るか。 ○学習内容を適切に活用し、自分 の意見を表現できているか。 ○学習内容を現代の諸課題に関連 して考えられているか。		○学習内容に興味、関心を持ち、内 容を考察し、自ら調べようとし ているか。 ○現代の諸課題の解決に向けて主 体的に取り組もうとしている か。
	手 段	・定期テストや授業中の応答、課 題など		・定期テストや授業中の応答、課題 など		・授業中、長期休業中の提出課題な ど
	単元末や学期末及び年次末にお ける評価の総括方法		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」から 総合的に評価する。			
学習上の 留意点	・毎時間教科書とノート、タブレットを持参する。 ・課題やノート（学習プリント）など、提出物は期限内に提出すること。					